

# 山地災害危険地区等における森林整備対策【農林水産省】

## 事業概要

森林の防災・保水機能を発揮させる間伐等の森林整備、林道の整備・強化等を実施

## 効果

森林の公益的機能を維持・強化し、山地災害を防止

### 全国的な対策と効果

**対策1** 河川上流域における間伐や再造林等の森林整備(全国**196万ha**) (R3~R6累計)



間伐前



間伐後

**対策2** 災害時に代替路となる林道など特に重要な林道の整備(全国約**700路線**) (R3~R6累計)



のり面が不安定な林道



のり面の保全

### 5か年加速化対策の効果

#### 河川上流域における森林整備及び災害時に代替路となる林道の整備による効果発揮事例

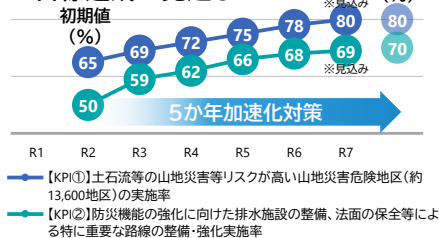
- ① 秋田県横手市 森林整備(間伐) 地震・豪雨等による被災のおそれ → 【令和6年7月25日からの大雨】24時間の雨量147mm →土砂流出や倒木の発生等なし
- ② 高知県宿毛市 既設林道の強靱化(林道路肩への補強対策工事) 地震・豪雨等による被災のおそれ → 【豊後水道地震】震度6弱 →林道への被害なし

### 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
338億円	186億円	164億円
R6	R7	累計
172億円	193億円	<b>1,053億円</b>

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

### 目標達成の見通し



### 効果発揮事例

## 適切な森林整備の実施により、土砂災害等を防止する



(公財)秋田県林業公社



秋田県横手市

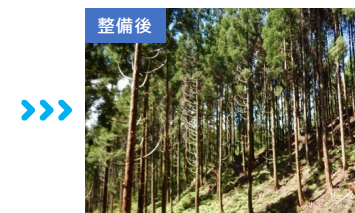


森林整備事業

### 位置図



### 森林の間伐



間伐(約10ha)の実施により、水源涵養及び土砂流出防止機能等を向上

### 事業費

0.09億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.09億円)

### 事業の背景(地域の課題)

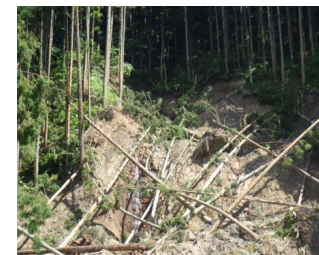
整備前の森林は植栽木の本数密度が高く、このままでは健全な育成の妨げになる可能性があります。また、本箇所は山地災害危険地区内にあり、近隣に集落や道路も存在します。間伐が行われないことで、集中豪雨等が発生した場合に山腹が崩壊し、倒木と土砂が集落を巻き込む危険性もありました。

### 事業の内容

倒木の危険性がある木や成長の劣る木を中心に令和4年度に約10haの森林を間伐することで、林内に十分な光が届くよう改善し、残存木の成長及び下層植生の繁茂を促しました。

### 効果

令和6年7月25日からの大雨で、横手市では24時間雨量147mmを観測しました。近隣市町においては、63か所(約8ha)の森林で土砂崩れ等の被害が発生しました。本対策箇所では、崩壊等することなく、住宅や道路への土砂流出や倒木及び流木の発生等の被害は発生せず、山地災害防止機能等といった森林の有する多面的機能が発揮されたと考えられます。



近隣市町の被害

(1) 人命・財産の被害最小化

(2) 交通・ライフラインの維持

2 インフラの老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化